

し 歴史を識り、新しきを生み出す思考@ink

大歳神社宮司が描くまちづくり～宮司としての新しき歩み～

2016.09.30.FRI Open18:30/Start19:00/Close20:30

work design studio
ink



大歳神社 宮司 森 裕宣

大歳神社は下関駅にも近く、街を見守り続けてきた神社である。
「港の見える丘の径(みち)」の起点とされており、観光やまちづくりと縁深き存在でもあります。
その神社の宮司が大歳神社や下関の歴史を紐解きながら、まちづくりに対して、一石を投じる。
この地元に対しての責任感は見である。

歴史を識り、新しきを生み出す思考@ink

大歳神社宮司が描くまちづくり～宮司としての新しき歩み～

■日時:2016年9月30日金曜日18時30分オープン/19時00分スタート/20時30分クローズ

■会場:ink(山口県下関市赤間町1番10号/TEL 083-227-4747/facebookアカウント:inkshimonoseki)

■入場料:無料(定員30名、予約はfacebookイベントページより)

■概要

大歳神社は下関駅にも近く、街を見守り続けてきた神社です。

「港の見える丘の径(みち)」の起点とされており、観光やまちづくりと縁深き存在でもあります。

「その神社の宮司が大歳神社や下関の歴史を紐解きながら、まちづくりに対して、一石を投じる」

地元に対しての責任感や使命感から、様々な方面からまちを解剖し、「今、まちに必要なことは何か?」を問いながら日々生活しておられます。

「宮司」という馴染みのない職を持ちながらも、新しいことにチャレンジする思考を共有し、自分たちの出来ることを模索していこうという企画です。

また、お話好きな「森宮司」に日々の疑問や考えていることをぶつけてみるのも楽しいかも!

■ゲスト:森 裕宣

下関の大歳神社宮司。若くして神社の代表となり、日々神職を務めている。豊浦高校卒業後、國學院大學にて学び、様々な体験をした後、現在に至る。